

JPIC

本だなプロジェクト 2026

「すべての子どもに本だなと本を」を
モットーに進めているプロジェクトです。
本に関わる方たちや、他業種の企業様の
協力を得て、全国の子ども食堂や無料塾、
フリースクールに、本棚と本をお届けし
ます。

貴社の社会貢献の一つとしてご検討くだ
さい。





JPIC

「本だなプロジェクト」とは

JPICは2022年「本だなプロジェクト」をスタートしました。全国の子ども食堂や無料塾に呼びかけ施設を選び、本棚と本を寄贈。

(2022年度は10施設、2023、24、25年度は30施設で実施)。

ただ本を贈るだけでなく、おはなし会の開催や、子どもが本と触れ合う機会を持ってもらえるよう、施設の方が読みきかせや絵本について学べる動画も作成。SDGsの「誰ひとり取り残さない」の実現をめざし、より多く子どもたちが読書のとびらをひらく一助としてすすめているプロジェクトです。

ネットワーク:2026/03/21 13:27:02

地元:2026/03/21 13:27:02

鹿児島県,南九州市,知事

JPIC 「本だなプロジェクト」 参加施設について

条件

1

定期的に運営しているこども食堂、無料塾、フリースクールであること

こども食堂、無料塾、フリースクール開催時に子どもたちが本にふれあう機会をつくりたいと考えてる施設に参加いただきます。

条件

2

おはなし会の開催、読みきかせの機会をつくること

施設の方にはオンラインで読みきかせの基本を必ず学んでもらいます。その後、おはなし会を開いたり、子どもたちが本に関わる働きかけをおこなってもらいます。

条件

3

レポート、写真の提出

定期的に、参加人数や読んだ本についてのレポート、写真を提出いただきます。

条件

4

訪問の受け入れ

JPIC職員、または近くのJPIC読書アドバイザー、書店様、出版社様、協賛企業様の不定期な訪問を受け入れ可であることも条件のひとつです。

出版社様、書店様、販売会社様を結ぶJPICだから提供できる JPIC 「本だなプロジェクト」 特徴 ①

一般社団法人授業目的公衆送信補償金等管理協会
(SARTRAS) の 共通目的基金の助成を受け実施



2026年度の「本だなプロジェクト」も引き続き著作物等の利用の円滑化、著作権及び著作隣接権の保護に関する啓蒙を目的としている SARTRAS（一般社団法人授業目的公衆補償金等管理協会）の共通目的基金の助成を受け実施します。

施設のご担当者にはJPICが作成した『知っておきたい著作権ハンドブック』を届け、著作者の権利を守ることを学んでもらいます。

出版社様、書店様、販売会社様を結ぶJPICだから提供できる JPIC 「本だなプロジェクト」 特徴 ②

何年も継続する 子どもが本に親しみやすい環境づくり

施設に届けた本が継続して有効活用されるよう、実施施設には本と本だなの到着後、おはなし会開催や、読みきかせの実施を必須としています。そのため読みきかせの基礎が学べる動画を視聴いただいています。また、もし動画を視聴してもおはなし会や読みきかせに不安がある施設には、近くのJPIC読書アドバイザーを派遣。実際のおはなし会の見学やアドバイスを受けることができます。

なお動画には知っておくべき著作権についての項目も盛り込み、読みきかせと著作権について広く認知をはかります。

出版社様、書店様、販売会社様を結ぶJPICだから提供できる JPIC 「本だなプロジェクト」 特徴 ③

地域の書店様を支えて、地域文化を守る

出版社様よりエントリーいただいた本は通常ルートで施設に届けられます。これにより施設近くの書店様に利益が生まれます。

また、販売会社経由の通常ルートで商品が流通するため、本（書籍代＋参加費）をご提供いただいている出版社様にも最終的には売上が戻る形となります。このシステムは、まちの書店様に少しでも利益を還元するためにあえて通常ルートによる仕組みにさせていただきました。

さらに子どもたちが書店様に本を受け取りに行くことで、地域の子どもたちがその書店様と親しむきっかけにもなり、地域の書店様をなくさないという出版界の姿勢にもつながります。

JPIC 「本だなプロジェクト」の全体の流れ

●JPIC

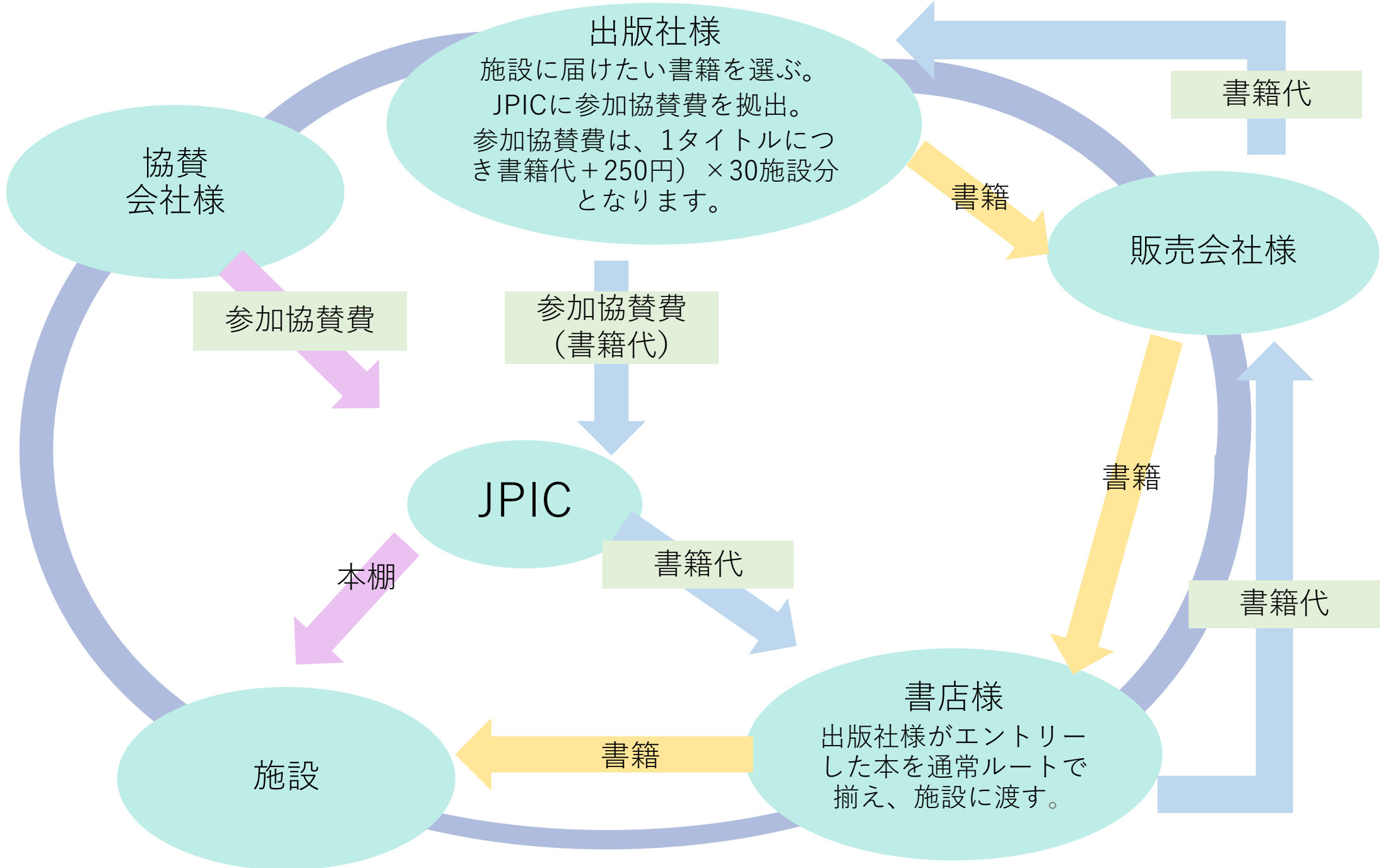
施設に送る本棚の手配。（2025年度は本棚の会社JKプラン様の協力を得て実施しました）
参加出版社様、本事業に協力いただいている協賛会社様の名前が入った本棚用ステッカーを作成し施設に送る。
参加出版社様が選定した本を掲載したリストを販売会社様経由で書店様に送る。
参加出版社様、パートナー会社様が提供したい資料を施設に送る。
おはなし会のサポートをする。

●施設様

動画を視聴しておはなし会、絵本について学ぶ。
本棚を組み立て、ステッカーを貼る。書店様に本を取りに行く。
おはなし会を定期的に行い、報告書と写真を提出する。

●書店、販売会社様

本を通常ルートで仕入れて揃え、揃ったら施設に連絡をし取りに来てもらう。



本が施設に届くまで

- ①出版社様が施設に届けたい書籍を選定（※全施設共通。施設ごとの選定はできません）
- ②参加施設の最寄りの書店に①の書籍を揃えてもらいます。
- ③JPICより出版社様へ（税込み書籍代＋参加費250円）×30施設分の金額をご請求いたします。
- ④書店様が揃えた本を施設が受け取りに行きます。
- ⑤③でいただいた協賛参加費から、書籍代を書店様に支払います。
- ⑤通常の流通と同様に、売上が出版社様へ還流されます。（書店に在庫がある場合はこの限りではありません）

出版社、パートナー会社様のメリット

- ・企業の社会貢献として認知されます。
本棚に貼るステッカーに社名が入ります。
- ・施設に届けたい資材があればJPICを通してお送りできます。



←ステッカー

出版社様参加費シミュレーション

出版社様

本を提供(本の定価(税込)のばあい)

1,320円

×

実施施設数
=冊数

30施設数

=

書籍代小計

39,600円

+

手数料
(1冊250円)

7,500円



参加費合計

47,100円



JPICへ

47,100円

内、JPIC事務局費

7,500円



出版社様へ
売上(69%)

27,324円

(1,320円×30冊)

販売会社様経由
でのご精算
売上(8%)

書店様へ
39,600円(1,320円×30冊)
売上(23%)

9,108円

販売会社様経由の
通常ルートによるご精算

※あくまでも例です。掛け率などは出版社様、販売会社様、書店様で異なります。

2026年度

JPIC 「本だなプロジェクト」 スケジュール

5月 参加施設募集・協力出版社募集

7月 参加施設30施設決定 施設は読みきかせの動画を視聴。最寄りの書店リストを提出
JPICは協力出版社様に施設の概要をお知らせ→出版社様エントリー一本決定

8月 JPIC→施設にステッカー、本棚を送付
書店様へ揃える本のリストを届ける→書店様は本を揃える

9月 本がそろい次第、施設は書店様に本を受け取りに行く。施設はおはなし会、読みきかせをスタート。
→書店様よりJPICに請求書→JPICは書籍代を支払う
→JPICより出版社様へ参加費の請求書

以降 施設は随時おはなし会を開催。
JPICは施設にアフターサポートとヒアリングをおこなう。
出版社、販売会社、書店は希望すれば施設の見学



2025年度
「本だな
プロジェクト」
のようす



「本だなプロジェクト」問い合わせ先

一般財団法人 出版文化産業振興財団 (JPIC)
本だなプロジェクト担当

〒101-0051

東京都千代田区神田神保町2-2-30

共同ビル神保町4階

TEL : 03-5211-7282 / FAX : 03-5211-7285

Mail : hondana@jpic.or.jp

